

経営課題ごとの取組

経営課題1「人と人がつながるまちづくり」に関する取組				
主なSDGs ゴール ※	10 人や国の不平等をなくそう 16 平和と公正をすべての人に 17 パートナーシップで目標を達成しよう			
取組の方向性 「福島区将来ビジョン」より	地域活動協議会をはじめとした地域団体が実施する事業の活性化等を支援するとともに、若い世代やマンション住民などにも地域活動への参加を促し、地域コミュニティの充実を図ります。			
令和5年度の取組概要	新型コロナウイルスの感染対策を踏まえた地域活動の継続を支援するとともに、地域活動協議会の認知度向上を図るため、広報紙・SNS等を活用した周知に努めるほか、より多くの住民参加による自律的な地域運営の実現に向けて、地域の実情に即したきめ細やかな支援に取り組む。			
令和5年度の 主な取組	取組内容	3決算額	4予算額	5算定見込額
	地域活動協議会の活動の活性化に向けた支援	26,130 千円	35,547 千円	35,310 千円
	地域活動協議会の認知度向上に向けた支援	— 千円	— 千円	— 千円
	合計	26,130 千円	35,547 千円	35,310 千円
年度末における 自己評価				
今後の方向性				

※SDGs（持続可能な開発目標）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2016年から2030年までの国際目標です。

経営課題ごとの取組

経営課題2「安全・安心なまちづくり」に関する取組				
主なSDGs ゴール ※	11 住み続けられるまちづくりを 13 気候変動に具体的な対策を 16 平和と公正をすべての人に			
取組の方向性 「福島区将来ビジョン」より	淀川の氾濫や南海トラフ巨大地震等による被害が想定される中、区民一人ひとりの「自助」「共助」の防災意識の向上に取り組めます。 また、地域・警察・区役所が連携し、防犯意識の向上と街頭犯罪の減少・抑止をめざして各種事業に取り組めます。			
令和5年度の取組概要	災害時に自主防災組織が主体となって初期対応を行い、住民が安全に避難できる体制を確立するため、多くの地域で継続的に防災訓練等を実施できるよう支援を進めるとともに、「自助」「共助」による区民の防災力の向上に努める。 また、防犯カメラ・街路防犯灯の設置等、地域・警察・区役所が連携し、防犯意識の向上と街頭犯罪の減少・抑止をめざして各種事業に取り組む。			
令和5年度の 主な取組	取組内容	3決算額	4予算額	5算定見込額
	避難所開設訓練等への支援	430 千円	981 千円	511 千円
	小・中学生の防災意識の向上	— 千円	72 千円	72 千円
	地域防災イベント	— 千円	90 千円	135 千円
	中学生体験学習事業	1,875 千円	2,218 千円	2,365 千円
	防犯カメラ・街路防犯灯の設置、防犯啓発による安全なまちづくり	2,852 千円	2,846 千円	2,422 千円
	合計	5,157 千円	6,207 千円	5,505 千円
年度末における 自己評価				
今後の方向性				

※SDGs（持続可能な開発目標）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2016年から2030年までの国際目標です。

経営課題ごとの取組

経営課題3「次世代を元気に育むまちづくり」に関する取組				
主なSDGs ゴール ※	4質の高い教育を みんなに 16平和と公正を すべての人に 17パートナーシップで 目標を達成しよう			
取組の方向性 「福島区将来 ビジョン」 より	子育てしている親の不安感等の解消のため各種施策に取り組めます。 また、学校教育の現場ニーズに対応した支援を学校と連携して行います。			
令和5年度の 取組概要	妊娠期から就学前の子どもを持つ親の子育てで感じる孤立感や不安感、疲労感等を軽減するため、「赤ちゃん広場」や「美ママ講座」など各種事業を実施するとともに、授乳に関する助産師の専門相談、「ペアレントトレーニング事業」など保護者の養育力向上を支援する事業にも取り組む。 また、小・中学校の児童・生徒に対しては、「体力向上」に向けた取組として、トップアスリートによる「ゲストティーチャー派遣事業」を実施するとともに、「学力向上」に向けて民間事業者を活用した学習支援に取り組むなど、学校と連携しながら学校教育の現場ニーズに対応した支援に取り組む。			
令和5年度の 主な取組	取組内容	3決算額	4予算額	5算定見込額
	育児不安軽減に向けた子育て支援事業	1,078 千円	1,709 千円	1,655 千円
	区役所庁舎を活用した子育て支援事業	464 千円	600 千円	600 千円
	小・中学生の体力向上事業	220 千円	408 千円	506 千円
	小・中学生の基礎学力向上事業	13,868 千円	14,825 千円	1 千円
	合計	15,630 千円	17,542 千円	2,762 千円
年度末に おける 自己評価				
今後の方向性				

※SDGs（持続可能な開発目標）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2016年から2030年までの国際目標です。

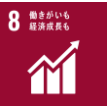
経営課題ごとの取組

経営課題4「誰もが自分らしくいきいきと暮らせるまちづくり」に関する取組				
主なSDGs ゴール ※	3 すべての人に健康と福祉を 10 人や国の不平等をなくそう 17 パートナーシップで目標を達成しよう			
取組の方向性 「福島区将来ビジョン」より	住み慣れた地域の中で、高齢者や障がい者など支援を必要とする方々が、自分らしく安心して暮らし続けることができるよう、地域住民や企業、団体、関係機関等多様な主体と連携しながら地域福祉の推進に取り組めます。 また、誰もがいきいきと毎日を暮らせるように、日頃から健康への関心を高めてもらえるよう啓発活動などに取り組めます。			
令和5年度の取組概要	多様な福祉ニーズに対応するため相談支援体制を整備し、つながり支え合う地域づくりに向けて広報啓発に取り組む。 また、誰もがいきいきと毎日を暮らせるとともに、日頃から健康への関心を高めてもらえるよう、生活習慣病予防、認知症予防やフレイル予防などの介護予防に取り組む。			
令和5年度の主な取組	取組内容	3決算額	4予算額	5算定見込額
	「みんなの相談室」・「福島お助けネットワーク」事業	15,224 千円	15,446 千円	15,690 千円
	地域福祉に関する広報啓発	299 千円	500 千円	679 千円
	がん検診の受診率向上	336 千円	383 千円	371 千円
	いきいき百歳体操の普及・継続支援	— 千円	— 千円	— 千円
	合計	15,859 千円	16,329 千円	16,740 千円
年度末における自己評価				
今後の方向性				

※SDGs（持続可能な開発目標）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2016年から2030年までの国際目標です。

経営課題ごとの取組

経営課題5「魅力あふれるまちづくり」に関する取組

主なSDGs ゴール ※	  			
取組の方向性 〔「福島区将来ビジョン」より〕	地域住民や企業、商店街等との連携により、区の魅力を発信できるイベントを実施するとともに、花とみどりのまちづくりを推進するなど、活気とうるおいあるまちをめざします。			
令和5年度の取組概要	新型コロナウイルス感染症の感染防止策を踏まえた新たな「にぎわいづくり」を検討するとともに、地域住民や企業、商店街等と連携しながら、「のだふじ」や「グルメ」など区の特性を活かしたイベントを実施し、更なるまちの魅力の発信に努めるとともに、活気とうるおいのあるまちの実現をめざす。			
令和5年度の 主な取組	取組内容	3決算額	4予算額	5算定見込額
	「のだふじ巡り」など区の特性を活かしたイベントの実施	9,742 千円	22,151 千円	19,230 千円
	花とみどりのまちづくり事業	487 千円	572 千円	572 千円
	合計	10,229 千円	22,723 千円	19,802 千円
年度末における 自己評価				
今後の方向性				

※SDGs（持続可能な開発目標）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2016年から2030年までの国際目標です。